

# 議会 だより

鳴門市  
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会  
編集／議会広報委員会  
発行／2015年(平成27年)9月1日  
<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

## 目次

平成27年第2回定例会の主な審査状況	②
平成27年第2回定例会の提出議案と議決結果	③
請願の処理、意見書、人事案件	③
委員会審査から	④
一般質問	⑤～⑩
議員特別表彰	⑪
平成27年第3回定例会の開催予定	⑪
行政視察	⑫～⑭
市議会点描	⑮
議会活動、市民の広場	⑯

表紙写真を募集しています。詳しくは最終面へ

## 「鳴門市版総合戦略」 市議会議員 ワークショップ



1班



2班



3班

7月31日(金)市が丸となって人口減少対策・地域活性化に取り組むための鳴門市版総合戦略の策定にあたり、市議会議員によるワークショップを開催し地方創生について議論を深めました。

※詳しくは、15ページをご覧ください。

No. 92

# 平成27年第2回定例会の主な審査状況

## 5月28日(木) 第2回定例会開会 予算決算委員会

- 市長より市政についての所信が表明され、専決処分の承認に関する議案など9件、報告6件が上程されました。
- 議案2件を予算決算委員会に付託しました。
- 本会議散会后、予算決算委員会を開催し、補正予算にかかる議案2件および平成26年度各会計予算の繰越計算書にかかる報告5件の説明を受けました。

## 6月3日(水) 一般質問

- 5会派による代表質問を行いました。

## 6月4日(木) 一般質問

- 議員3名による個人質問を行いました。

## 6月5日(金) 一般質問／予算決算委員会

- 議員2名による個人質問を行いました。
- 議案7件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。
- 本会議散会后、予算決算委員会を開催し、付託された議案2件について質疑の後、採決を行い、いずれも可決すべきと決しました。

## 6月8日(月) 総務文教委員会

- 付託された議案4件について審査の結果、議案4件はいずれも可決すべきと決しました。
- その他として、「新学校給食センター建設事業について」など3件について担当課より報告を受けました。また、鳴門市スーパー改革プラン2020等について質疑を行いました。



## 6月9日(火) 生活福祉委員会

- 付託された議案3件および継続審査となっていた請願1件について審査の結果、議案3件はいずれも可決、請願は不採択とすべきと決しました。

- その他として、鳴門市スーパー改革プラン2020等について質疑を行いました。



## 6月10日(水) 産業建設委員会

- 報告1件について質疑を行いました。
- その他として「平成27年度鳴門市納涼花火大会」実施計画及び「平成27年度鳴門市阿波おどり」実施計画について担当課より報告を受けました。また、鳴門市スーパー改革プラン2020等について質疑を行いました。



## 6月12日(金) 総務文教委員会

- その他として、鳴門市第一中学校の給食について担当課から報告を受けました。また、「学校施設環境整備等に係る財源措置の充実を求める意見書(案)」の提出について協議しました。

## 6月16日(火) 第2回定例会閉会

- 第2回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受けた後、採決を行い、議案9件のうち専決処分に係る議案4件は承認、予算議案1件、条例改正議案3件 その他の議案1件はいずれも可決、請願1件は不採択と決しました。
- 総務文教委員会より意見書1件が提出され、採決の結果、可決しました。
- 市長より副市長の選任・教育長の任命に係る人事案件2件が提出され、同意しました。



## 《平成27年第2回定例会の提出議案と議決結果》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第53号	専決処分の承認について(平成26年度鳴門市一般会計補正予算(第7号))	承認	予算決算
議案第57号	平成27年度鳴門市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	
報告第2号	繰越明許費繰越計算書について(平成26年度鳴門市一般会計予算)	報告	
報告第3号	繰越明許費繰越計算書について(平成26年度鳴門市介護保険事業特別会計予算)		
報告第4号	繰越明許費繰越計算書について(平成26年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算)		
報告第5号	繰越計算書について(平成26年度鳴門市水道事業会計予算)		
報告第6号	繰越計算書について(平成26年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算)		
議案第54号	専決処分の承認について(鳴門市税賦課徴収条例等の一部改正について)	承認	総務文教
議案第58号	鳴門市職員の再任用に関する条例の一部改正について	原案可決	
議案第59号	鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について		
議案第61号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について		
議案第55号	専決処分の承認について(鳴門市国民健康保険条例の一部改正について)	承認	生活福祉
議案第56号	専決処分の承認について(鳴門市介護保険条例の一部改正について)	原案可決	
議案第60号	鳴門市手数料徴収条例の一部改正について		
報告第7号	専決処分について(訴訟上の和解について)	報告	産業建設
同意第2号	副市長の選任について	同意	
同意第3号	教育長の任命について	同意	
意 第4号	学校施設環境整備等に係る財源措置の充実を求める意見書	原案可決	

## 請願の処理

請願番号	案 件	審議結果	所管の委員会
請願第9号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書	不採択	生活福祉

🔄 定例会で可決された意見書は各関係機関へ送付しました 🔄

## 学校施設環境整備等に係る財源措置の充実を求める意見書

公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針において、学校施設の耐震化については平成27年度末までのできるだけ早期に完了させるとの目標が示され、国庫補助率の嵩上げ等の財政支援により、全国的に耐震化が推進されてきたところであります。

しかしながら、各自自治体の置かれた状況は様ではなく、耐震診断により改築が必要となる場合や入札不調、技術者不足など、期限までに耐震化を終えられない、あるいは想定以上に事業費が増加する事例が生じており、補助率嵩上げ措置の終了や予算枠不足は耐震化の推進に多大な影響を及ぼすものと考えられます。

また、学校給食施設等、関連施設の耐震化や改築については、近年、補助金需要が急増しているものの、十分な予算確保がなされず、補助採択が遅れる状況が生まれております。学校給食施設は、校舎改築にあわせて一体的に整備する場合や災害発生

時の市民向けの炊き出し等の機能もあり、国の財政措置の遅れは、給食供給の停止や防災対策の遅れにつながりかねないものと危惧いたしております。

以上により、国においては、次の事項について、特段の措置を講じるよう強く要望いたします。

記

- 1 学校施設環境改善交付金について、各団体の実情を考慮し、耐震化に係る補助率嵩上げ措置を継続するとともに、学校給食施設整備における補助金の十分な予算枠を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成27年6月16日

鳴門市議会

### 人事案件

#### 【同意第2号】

副市長として たに しげゆき 谷 重幸 氏(撫養町)が同意されました。

#### 【同意第3号】

教育長として やすだ おさむ 安田 修 氏(福岡県)が同意されました。

鳴門市のマスコットキャラクター



うずひめちゃん

うずしおくん

# 委員会審査から

## 総務文教委員会

### ● 議案第54号 専決処分の承認について(鳴門市税賦課徴収条例等の一部改正について)

〔説明〕 地方税法等の改正に伴い、軽自動車税の特例措置の見直し、ふるさと納税の特例控除額の拡充や申請手続の簡素化、固定資産税等の負担調整措置の延長など、所要の改正を行うものであり、事務の執行上急を要したため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、専決処分したものである。

〔質疑〕 制度改正による市税収への影響額は。

〔回答〕 現時点の試算では、平成28年度では1年間で1,700万円程度の増収と見込んでいる。

〔要望〕 窓口での混乱を避けるためにも、市民の方に対する周知を十分に行ってほしい。

## 生活福祉委員会

### ● 議案第55号 専決処分の承認について(鳴門市国民健康保険条例の一部改正について)

〔説明〕 国民健康保険法及び同施行令の一部改正が行われ、国民健康保険料賦課限度額の引き上げ及び保険料軽減世帯の拡大、財政基盤強化策の恒久化のため所要の改正を行ったものであり、事務執行上、急を要したため地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したものである。

〔質疑〕 所得の高い方の国民健康保険料賦課限度額を引き上げる代わりに、保険料の軽減制度のうち5割軽減、2割軽減の方の人数を増やすということでのよいのか、また、制度改正の周知をどのように行うのか。

〔回答〕 国民健康保険料賦課限度額の引き上げ及び保険料軽減世帯の拡大の趣旨はそのとおりであり、周知については、6月号の市広報紙、市公式ウェブサイトで周知するとともに、今後、発送する納付書と一緒に平成27年度の保険料等を周知する文書を同封する。

〔意見〕 国民健康保険の被保険者には、年金生活者や非正規雇用者の割合が高く、国にこれ以上の負担増とならないよう要望していかなければならないのでは。

### ● 議案第60号 鳴門市手数料徴収条例の一部改正について

〔説明〕 平成27年10月より社会保障・税番号制度に関するマイナンバー制度が開始されることに伴い、通知カード及び個人番号カードの再発行手数料を定め、住民基本台帳カードの発行手数料の規定を削除するものである。

〔質疑〕 マイナンバー制度について市民への周知をどのように行うのか。

〔回答〕 国もパンフレットや新聞等で積極的に広報活動を行っており、市としては広報紙やテレビ広報、市公式ウェブサイト等を通じて周知を行う。

〔意見〕 市独自の広報をもっと積極的に行い、制度の周知にはある程度の時間がかかるため、早めに予算化し、計画的に行うべき。



この議案が可決されたことにより、平成27年10月よりスタートするマイナンバー制度に関する通知カード及び個人番号カードの再発行手数料が定められます。

## 産業建設委員会

※平成27年第2回定例会において、産業建設委員会への付託議案はありませんでした。

## 予算決算委員会

### ● 議案第53号 専決処分の承認について(平成26年度鳴門市一般会計補正予算(第7号))

〔説明〕 歳入については、地方譲与税、各交付金、地方交付税、国庫補助金及び市債の額が確定したため、また、歳出については、国庫補助金の決定に伴う事業費の減額及び不要となる予備費の減額を行うとともに、剰余額を減債基金に積み立てたことに伴い所要の補正を行ったものであること、また、次年度への繰越しを予定する事業について、国庫補助金の決定に伴う子育て応援商品券交付事業の計上など、繰越明許費を追加で設定したものであり、事務執行上、急を要したことから、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したものである。

〔質疑〕 国庫支出金の平成25年度決算額と平成26年度予算額を比較した場合、平成26年度予算額が約5億円ほど少ないが。

〔回答〕 施設耐震化事業の進捗等が影響したこともあるが、平成25年度は、地域の元気臨時交付金等の経済対策的な臨時交付金等があったことが大きかったのでは。

〔 ※第2回定例会より、スーパー改革プラン2020、総合計画実施計画の内容について、総務・生活・産業の3常任委員会で質疑を行うこととなりました。 〕

# 一般質問

## 代表質問

### ●東 正昇 (会派 郷土)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 新庁舎建設について
- (2) まちづくりエリアについて

#### 2. 教育行政について

- (1) スポーツによる人づくりについて

### ●野田 粹之 (会派 創心クラブ)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 行財政改革について
- (2) 人口減少問題について



### ●宮崎 光明 (会派 志)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 地方創生交付金について

#### 2. 教育行政について

- (1) 特別支援教育について
- (2) うずしお教室について
- (3) いじめ対策について

### ●橋本 国勝 (会派 有志会)

#### 1. 鳴門市スーパー改革プラン2020について

- (1) 財政健全化について
- (2) 行政運営について



### ●松浦 富子 (会派 公明党鳴門市議団)

#### 1. 市長の政治姿勢について

- (1) 地方創生について

#### 2. 脳脊髄液減少症の周知等について

- (1) 脳脊髄液減少症に対する学校(現場)での対応について
- (2) 脳脊髄液減少症の市民、保護者等への周知について

### 傍聴にお越しく下さい

- ・本会議…議場  
(受付：東側階段より3階傍聴席入口)
- ・委員会…委員会室  
(受付：中央階段またはエレベーターで3階議会事務局)

当日、傍聴券をお渡ししますので、受付にてお名前、ご住所、年齢をご記入ください。職員がご案内いたします。

## 代表質問



会派 郷土  
あずま まさのり  
東 正昇

### ◆市長の政治姿勢について

**問** 新庁舎建設は、まちづくりを進める上で大きな課題と思うが。

**答** 現庁舎は、本庁舎については建築後、半世紀以上が経過し、共済会館、分庁舎、うずしお会館などについても、建物の老朽化が進行しています。利便性向上の対策も講じて来ましたが、庁舎の点在化の問題や、災害対応拠点としての備えが十分ではないなど、こうしたさまざまな課題があり、早急に取り組むべきと考えております。今後、公共施設等総合管理計画を策定する中でも検討していきたいと考えています。

**問** 温浴施設を核とするポータルース場周辺のエリア整備を具体的にどのようにするのか。

**答** 基本的な方針としては、民間の資金や運営ノウハウを活用し、初期投資、管理費用等が不要な賃貸

方式で事業誘致を図ります。公募方法としては、一定の条件を付した上で、総合的な視点で評価するプロポーザル方式を考えています。



建設が進むポータルース鳴門新スタンド

### ◆教育行政について

**問** 幅広いスポーツ推進をしていく上で、人員体制の強化も含めて、独立した課として、スポーツ課を設置する考えはないか。

**答** スーパー改革プラン2020では、職員の適正配置や人材育成など定員適正化を推進することとしており、スポーツを推進する組織体制については、今後の市全体の組織機構を考える中で検討していきたいと考えています。



代表質問



会派 創心クラブ  
の だ きよゆき  
野田 粹之

◆行財政改革への取り組みについて

**問** スーパー改革プラン2020に行財政改革の一層の推進が必要であり、限りある人的、物的資源を最大限に有効活用できる行財政運営の構造改革と職員の意識改革が不可欠と書かれているが、行財政改革にどのように取り組むのか。

**答** 地域経済の低迷など本市を取り巻く諸環境が大きく変化する中、今後も財政の硬直化や定員適正化への対応といったかじ取りの難しい行財政運営が求められており、依然として厳しい状況にあると実感しています。スーパー改革プラン2020では、引き続き時代の変化に対応可能な全部門の全体最適を目指し行財政運営機能の強化に取り組んでいき、限られた職員数で多様化する市民ニーズに対応できる職員の意識改革と組織体制

の強化を推進します。

◆人口減少問題への取り組みについて

**問** 人口減少問題にどのように取り組むのか。

**答** 現在、鳴門市人口ビジョンと平成27年度から平成31年度までの5カ年を計画期間とする鳴門市版総合戦略の作成に取りかかっています。既に今年度交付されています地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、シテイセールス推進事業やサテライトオフィス誘致事業、ビジネスプランコンテスト開催事業など一部の事業について計画的な事業の実施に努めています。



魅力的なビジネスプランで地域を活性化

代表質問



会派 志  
みやざき みつあき  
宮崎 光明

◆市長の政治姿勢について

**問** 地方創生交付金を使った、鳴門市プレミアム付商品券と鳴門市子育て応援商品券の内容は。

**答** 鳴門市プレミアム付商品券については、9月頃に発売し混乱を避けるため、応募抽選方式の採用等を検討しています。また、鳴門市子育て応援商品券は、就学前児童に1人1万円の商品券で、対象者には8月頃に通知し9月頃に申請受付をし、10月頃から順次各家庭に簡易書留でお届けします。

◆教育行政について

**問** 本市の不登校の現状と対策について。

**答** 平成26年度の30日以上欠席者は小学生15名、中学生49名であり、各学校では校内委員会、教育委員

会には不登校問題連絡協議会を設置しました。また、うずしお学級に通級していた中学生11名のうち4名は4月から学校に復帰しました。

**問** 本市のいじめの現状と対策について。

**答** 平成26年度の調査では、いじめの件数は小学生14件、中学生26件が認知されていますが、現時点では全ての案件で解消、または一定の解決が図られています。また、「鳴門市いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止や早期対応にとり組む体制整備を図っています。



鳴門市いじめ防止基本方針

**問** 本市の特別支援教育の現状について。

**答** 平成27年度の特別支援学級在籍児童は157名で、平成20年度の106名と比べて増加傾向にあり、特別支援教育コーディネーターを配置し、保護者や児童の相談に応える体制整備や支援を行っています。また、鳴門教育大の学生ボランティアの特別支援教育サポーターの協力により、授業中の個別指導の充実を図っています。

## 代表質問



有志会  
かつくに  
はしもと  
橋本 国勝

### ◆スーパー改革プラン

#### 2020について

**問**スーパー改革プランの目指す具体的な数値目標に対する考え方と取り組み方針について。

**答**多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応しながら中・長期的にも持続可能な財政運営と財政健全化のための目標数値を設定しました。目標達成のため本市の総力を挙げた推進体制を整備し、既に具体化した事業に加え、将来をしっかりと見据えたまちづくりには欠かせない事業を推進するため財源確保に取り組みたいと考えています。

### ◆定員適正化の推進について

**問**総職員数の削減や人材育成・組織のあり方等、定員適正化にどのような取り組みなのか。

**答**スーパー改革プラン2020の計画期間に正規職員数を50人削

減し、人材育成の推進では女性職員の職域拡大や管理職への登用、民間企業経験者枠やチャレンジ枠の活用などの職員を総合的、計画的に育てる仕組づくりを推進します。改善改革に取り組む「職員力」を向上させ、市民サービスの低下を招かないよう一層の定員適正化を推進したいと考えています。

### ◆渡船について

**問**渡船の老朽化等に対する今後の取り組みや対応は。

**答**3 渡船とも地域住民の移動手段として重要な役割を担っており、渡船の故障や事故等により長期間運休状況とならないよう保守点検等を行い船舶の長寿命化や適正な管理運営に努めるとともに、長期運休に備え、予備船の準備や代替運航等も検討し、故障や台風等の運休時にはデジタル防災行政無線等を活用して、利用者への迷惑を軽減する様周知を行いたいと考えています。今後とも、利用状況等を詳細に分析し渡船全体の運航形態を見なおしたいと考えています。



市民の足として重要な渡船

## 代表質問



鳴門市議会  
公明党  
こみこ子  
とみこ子  
うらみこ子  
まつとみこ子  
松浦 富子

### ◆地方創生について

**問**地方創生における女性の活躍は重要であるが、本市において女性の活躍をどのような位置付けで考えているのか。また、障害者雇用も重要な取り組みの一つと考えているが今後の本市の具体的な取り組みについて。

**答**女性の活躍の位置付けについては、男女の人権尊重やワークライフバランスの確立等男女共同参画の推進に取り組みべく、鳴門市男女共同参画推進条例を市民の皆様にご理解いただけるように周知を行ってまいります。今定例会で国の地域女性活躍推進交付金を活用し女性の管



新たに策定された第4期鳴門市障害福祉計画

理職等への登用率の向上、女性が社会参画しやすい事業を支援するための事業を補正予算計上しています。今後も女性が生き生き元気に輝けるまちづくりを推進していきます。また、障害者の就労の促進については本市が平成27年3月に策定した第4期鳴門市障害福祉計画において、福祉的な就労支援サービスの利用者のうち、民間事業所等で一般就労へ移行する障害者を平成29年度において年間10人を目標に掲げています。目標の達成と雇用率の向上及び福祉的就労の充実のため、地域自立支援協議会就労支援部会を通じて取り組んでいきます。

### ◆脳脊髄液減少症の周知等について

**問**脳脊髄液減少症について市民への周知啓発の取り組みは。

**答**今後ホームページ等を活用した市民への周知啓発について、県と連携を図りながら取り組みを進めるとともに、症状や疾患に関する市民の方からの相談等についても情報共有を図りながら対応していきたいと考えています。

# 個人質問

## ●川田 達司

### 1. 高齢者福祉について

- (1) 認知症サポーター養成講座について
- (2) 若年性認知症者の生活支援について
- (3) 生活自立支援センターについて

### 2. 観光振興について

- (1) 観光資源の再発信について
- (2) 観光施設の整備について

## ●三津 良裕

### 1. 鳴門市の財政状況について

- (1) 特別会計について
- (2) 地方公営企業会計について

### 2. 鳴門市の人口構成について

- (1) 人口減少について
- (2) 高齢化について



## ●叶井 克典

### 1. 教育行政について

- (1) 子どもの読書活動推進計画について



### 2. 法定受託事務について

- (1) マイナンバー制度について
- (2) 国勢調査について

## ●山根 巖

### 1. 教育行政について

- (1) 学校再編後の教育環境の整備について
- (2) 学校(園)跡地・施設の利活用について

### 2. 環境行政について

- (1) クリーンセンター地元対策事業等について

## ●上田 公司

### 1. 社会福祉について

- (1) 市民生活への影響について
- (2) 国民健康保険制度について

### 2. 財政運営について

- (1) 地方消費税について
- (2) 地域住民生活等緊急支援のための交付金について

## 《傍聴席》



### 傍聴人の定員は40名です

第3回定例会の開催予定を11ページに掲載しています。ぜひ、傍聴にお越しください。

## 個人質問



かわた たつじ  
川田 達司

### ◆認知症者等の生活自立支援について

問 認知症者と生活自立支援相談センターの啓発について。

答 国においては若年認知症の認知症施策の強化を掲げ、相談窓口の設置や事業主に就労への理解を得る総合的な支援を講じるとともに、市では認知症者やその家族を支援するサポーターの養成に今後とも積極的に取り組みたいと考えています。

鳴門市生活自立支援相談センター「よりそい」事業については、専門のスタッフが常駐し生活不安を抱えた方に寄り添いながら相談支援を実施しており、開設以降多くの方が相談にお越しになり問題の解決へとつながっています。この事業が市民の皆様



認知症を学び地域で支えよう

### ◆観光資源再発信について

に十二分に周知できていないことから、公民館等の公共施設さらに市内の全医療機関などを通じ周知を図ります。

問 3年後に迫った「第九」100周年や世界遺産化を目指す鳴門の渦潮、四国霊場など優れた文化遺産を再発信することで、観光客誘致に積極的に取り組むべきでは。

答 「第九」100周年は本市にとってまたとないチャンスと考え、平成25年12月よりプロジェクト推進協議会を立ち上げるとともに、鳴門海峡の渦潮の世界遺産化についても、兵庫県や南あわじ市との登録に向けた活動も広がり全国的に注目される中、推進協議会を母体として事業展開をします。また、四国霊場を含め多くの優れた本市の文化資源を再発信することで誘客に結びつけることは、観光振興を図る上で重要な施策の一つであることから、これまでに加え有効なPR活動の機会を検討しながら鳴門の魅力を広く伝えたいと考えています。



## 個人質問



かない かつのり  
叶井 克典

### ◆教育行政について

**問** 鳴門市子どもの読書活動推進計画(第二次推進計画)策定時の課題と第三次推進計画の策定は。

**答** 蔵書の充実や、ボランティア団体等との情報共有化等が第二次推進計画策定時の課題でしたが、親子で絵本に親しむブックスタート事業等により、家庭での読み聞かせの機会が増え、保護者の読書への意識が高まっています。また、学校図書予算は、地方交付税措置額には及びませんが、厳しい予算状況の中、確保に努めて来ました。第三次推進計画については、「鳴門市子どもの読書活動に関するアンケート調査」の実施・分析を行い、市民総ぐるみで推進するため素案策定に取り組み、今年度中の策定を予定しています。

### ◆マイナンバー制度について

**問** マイナンバー制度は、広報になると

6月号に初めて紹介されていたが、今後どのように理解を求めていくのか。

**答** 広報になると6月号で通知カードの送付についてお知らせを行ったほか、今後も市民の皆様にご混乱を招かないよう広報なるとやテレビ広報、市公式ウェブサイトを活用するなど、積極的に周知を行いたいと考えています。

### ◆国勢調査について

**問** 国勢調査の新調査方法を、今後どのように広報していくのか。郵送提出の取り扱いの予定は。

**答** 広報については、テレビ鳴門や庁内モニター、納涼市等のイベントのほか、地区自治振興会の会合など様々な機会を捉え周知を行い、オンライン調査等の新しい制度をご理解いただき、市民の皆様にご協力いただけたら、PRを図りたいと考えています。また、郵送提出は、共働き世帯等の面接困難世帯からの回収方法としては必要不可欠と考えられています。

必要不可欠と考えられています。



5年度に一度の国勢調査が実施される

## 個人質問



うえだ こうじ  
上田 こうじ

### ◆国民健康保険制度について

**問** 今回拡充された保険者支援制度などを使って、低所得者に限らず被保険者全体の負担軽減に活用するべきでは。

**答** 医療費の伸びや財政状況を見きわめながら国保財政の健全な運営に努め、保険者支援制度の支援金を活用し、市民の負担増に繋がらないよう検討したいと考えています。



保険者支援制度を利用した利用者の負担軽減

### ◆消費税について

**問** 社会福祉の充実に使うとして導入・増税された消費税だが、市として消費税による財源の活用についてどのように考えているのか。

**答** 消費税自体が使い道特定されない普通税であることから、あらゆる

る公共サービスの使途に用いられる標準的な市政運営の原資として活用されるものと認識しています。

**問** 平成9年度以降の消費税による財源の総額とそのうち社会保障費にどれほど活用されたのか。

**答** 平成9年度から平成27年度までの見込み総額は104億6820万9000円。そのうち社会保障財源としては、地方消費税引き上げに伴う平成26年度及び平成27年度の見込み額は4億3432万7000円であり、残りの100億3388万2000円は、あらゆる公共サービスに用いられる標準的な市政運営の原資と認識しています。

### ◆地域住民生活等緊急支援のための交付金について

**問** 消費喚起・生活支援型と地方創生先行型からなる、この交付金について政府は新規性を重視するとしているが、この交付金の活用事業のうち、新規事業はどれほどあるのか。

**答** 消費喚起・生活支援型交付金については3事業。また、地方創生先行型交付金については個別24事業のうち新規8事業に活用しています。

## 個人質問



ひろし みのづみ  
みづ 良裕

### ◆鳴門市の人口構成について

**問** 鳴門市の人口は、平成9年の6万6081人をピークに、平成27年には6万人を切り、20年後の平成47年には5万人を切ると推測予想されている。人口が減り急激な少子・高齢化の進行が見込まれる中、人口減少・高齢化の現状と課題に対してどのように取り組むのか。

**答** 2040年の鳴門市では、約半分の生産年齢世代が約半分の年少人口と老年人口を支える構図となり、高齢化に伴う医療、介護の負担の増加や労働力の減少となる。「第6期鳴門市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を策定し施策を展開したり、働く環境、定住環境を整え支え援し、鳴門市の特性を生かした対策を講じていきたいと考えています。

項目	数値
人口	60278人
世帯数	26463世帯
男	28772人
女	31506人
年齢	7人
年齢	9人
年齢	2人
年齢	23人

人口減少社会への対応が急がれる

### ◆鳴門市の財政状況について

**問** 特別会計、その中の国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、介護保険事業については、一般会計からの繰入金が増加している。一般会計の財政運営を圧迫している。一般会計からの繰入金の内容とその状況、少子・高齢化の進展が各特別会計に与える影響とその課題に対する取り組みについて。

**答** 3特別会計への一般会計からの繰入金の合計額は約16億2500万円、国が定める基準内繰入金ですが、財政硬直化の要因でもあり、各種の健康診査や健康増進施策を推進し医療費の抑制を図りたいと考えています。また、収入面では収納率向上対策に取り組む、特別会計の健全化を推進します。

**問** 地方公営企業会計のモーターボート競走事業と水道事業の財政状況とその課題への取り組みについて。

**答** モーターボート競走事業は、効率的な運営方法を検討し、経費削減を行い、新スタンドオープン以降の経営計画となる新アクションプランの策定に着手します。水道事業については、水道事業ビジョンに基づき、経営基盤強化、施設整備に取り組めます。

## 個人質問



いわた ねあき  
やま 根 巖

### ◆教育行政について

**問** 学校再編による魅力ある学校づくりの一つとして小規模校のメリットを生かした小中一貫校いわゆる「義務教育学校」を設置してはどうか。

**答** 義務教育学校は義務教育9年間のカリキュラムを弾力的に運用できる小中一貫教育を行う新たな学校として法的に制度化されるものです。今後、制度の内容や効果について本市全体の学校づくりを考える中で研究していく必要があると認識しています。

**問** 閉校及び休校、休園となった学校(園)跡地の利活用について、本市のまちづくりという視点に立った「学校跡地利活用計画(仮称)」を策定してはどうか。

**答** 今後とも地域の皆様の御意見を頂きながら、できるだけ早期にそれぞれの地域における利活用

の方向性が出せるよう努めます。また、「学校跡地利活用計画」については、その後の検討課題としたと考えています。

### ◆環境行政について

**問** 鳴門市クリーンセンター地元対策事業の未実施事業についての取り組みと、もう一本の搬入路の確保についての今後の対応は。

**答** 未実施の5事業については鳴門市が直接実施できないため、関係機関との連絡を密にし、引き続き協議を行うとともに、様々な機会を通じて要望します。また、もう一本の搬入路の確保については危機管理上からも代替ルートの必要性は十分認識しています。そのため平成24年度以降も代替ルート確保のため様々な手法について検討して来ましたが、具体的な方法は見出せていません。今後引き続き最適な方法を見出せるよう検討します。



クリーンセンターへと続く市道明神日出線



# ★ 議員特別表彰 ★

## 《第77回 四国市議会議長会 定期総会》

去る5月26日、徳島市で行われた四国市議会議長会定期総会に於いて、次の8名が特別表彰されました。

28年以上  
在職議員



さとう きぬこ  
佐藤 絹子 議員

24年以上  
在職議員



ふじた しげお  
藤田 茂男 議長

20年以上  
在職議員



はしもと くにかつ  
橋本 国勝 議員

20年以上  
在職議員



のだ きよゆき  
野田 粹之 議員

16年以上  
在職議員



みつ よしひろ  
三津 良裕 議員

12年以上  
在職議員



かわた たつじ  
川田 達司 議員

12年以上  
在職議員



あきおか よしろう  
秋岡 芳郎 議員

12年以上  
在職議員



みやざき みつあき  
宮崎 光明 議員

## 平成27年 第3回定例会の開催予定

平成27年第3回定例会は、9月9日から10月2日までの24日間の予定です。

- 9月9日(水) 第3回定例会 開会
- 予算決算委員会(議案説明)
- 10日(木) 一般質問通告締切
- 15日(火) 一般質問(会派代表質問)
- 16日(水) 一般質問(個人質問)
- 17日(木) 一般質問(個人質問)
- 18日(金) 総務文教委員会
- 予算決算委員会第1分科会
- 24日(木) 生活福祉委員会
- 予算決算委員会第2分科会

- 9月25日(金) 産業建設委員会
- 予算決算委員会第3分科会
- 予算決算委員会特別質疑通告締切
- 29日(火) 予算決算委員会全体質疑  
(特別質疑)
- 30日(水) 予算決算委員会(質疑・採決)
- 10月1日(木) 議会運営委員会・全員協議会
- 2日(金) 第3回定例会 閉会

: インターネットで中継・録画配信  
: ケーブルテレビで中継・録画放送

## 視察先

◇7月7日(火) 宇都宮市(栃木県)

◆人口 約52万人

◆面積 約417平方キロメートル

◇7月8日(水) 江東区(東京都)

◆人口 約50万人

◆面積 約40平方キロメートル

## 《宇都宮市》

## ①「女性職員の育成・活用」について

## ②「奨学金制度(定住条件)」について

栃木県宇都宮市では、人材育成のうち「女性職員の活用と意識向上について」及び「返還免除型育英奨学金貸付制度」について、説明を受けました。

女性職員の活用と意識向上では、組織力の強化という点から、本年3月に、女性の管理職検討チームによる意見をふまえ、女性職員活躍推進アクションプラン等を策定したところであり、現在、「女性活躍推進キャリア支援研修」等女性

職員自らがキャリア・デザインを考えていく研修や女性職員のネットワーク形成支援等、様々な施策を実施しています。



返還免除型育英奨学金貸付制度では、大学卒業後の就職時に転居

者が多いという状況をふまえ、市内での定住を促進するとともに、教育費の負担感軽減を図るという趣旨のもと、平成28年2月の募集に向け、制度構築を行ったものであります。



宇都宮市役所にて

## 《江東区》

## ①「こうとう学びスタンダード」について

## ②「俳句教育」について

東京都江東区では、こうとう学びスタンダード及び俳句教育について、説明を受けました。



こうとう学びスタンダードは、江東区の学校で学ぶ小・中学生が

身につけるべき内容を示したもので、各学校で個別に取り組んでいた学習規律等を区全体で実施するため取りまとめるとともに、東京都の平均を下回っていた体力等についても、区全体として取り組む必要があることから、同様にまとめたものであります。

俳句教育は、松尾芭蕉等が居を構えていたという江東区の状況と学習指導要領の改訂による俳句

教育の位置づけの明確化をふまえ、誰でも作れる俳句を通じて、子どもたちの感性や、人と自然に接する心を培うというものであります。



江東区役所にて

## 視察を終えて

宇都宮市の女性職員のキャリア・デザイン研修やネットワーク形成支援等による全員が働きやすい職場環境の構築や市内定住促進と教育費の負担感軽減という2つの目的をあわせた新たな奨学金貸付制度等、いずれも本市の人材育成や教育行政の実施にあたり、大いに参考となるものであります。

江東区のこうとう学びスタンダード及び俳句教育では、いずれも、各学校の校長や講師の協力のもと、わかりやすい指導資料を作成し、学校現場で活用しており、本市の教育施策においても、大いに参考となるものであります。



## 視察先

◇7月7日(火) 鎌倉市(神奈川県)  
◇7月8日(水) 葛飾区(東京都)

◆人口 約18万人

◆面積 約40平方キロメートル

◆人口 約45万人

◆面積 約35平方キロメートル

《鎌倉市》 ①「鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター事業」について  
②「地域包括支援センター運営方針に係る取り組み」について

サポートセンター事業については、利用者の要件は鎌倉市内に住民登録のある65歳以上で一人暮らし、または高齢者のみの世帯で要支援1・2、要介護1程度であることとなっており、支援内容としては、趣味や生きがいのための支援、外出支援、自立支援の妨げにならない程度の家事支援とのことでした。利用料金は1時間900円であり、直接サポーターに

支払うシステムとなっています。



運営方針に係る取り組みについては、各地域包括支援センターと市が共同し、委員会を立ち上げ、

その中で、全体的な市としての地域包括支援センターの活動方針を作成し、それに基づき各地域包括支援センターが自らの活動計画を立てているとのことでした。



## 《葛飾区》 ①「母子生活支援施設(葛飾区における母子生活支援への取り組み含む)」について

葛飾区では、ひとり親家庭の支援として、いくつかの事業を実施しており、その中の一つとして母



子生活支援施設の運営を行っていましたが、平成24年度からは民設民営で社会福祉法人の運営となっています。施設の入所期間は基本2年間であり、その間に自立のための支援をするとのことでした。定員は20世帯となっておりますが常に満室状態とのことでした。入所理由としては、離婚等の要因によりひとり親家庭となった

ものですが、なかでも特にDV被害による離婚の割合が高いことから、セキュリティが強化された自立支援に向けた施設となっていました。



## 視察を終えて

鎌倉市の「サービスを受けるのも市民、提供するのも市民」という地域の助け合いによるサポートセンター事業、また、地域包括支援センターと一緒に市全体としての地域包括支援センターの活動方針を作るなどの先進的な取り組みは非常に参考となるものでした。

また、葛飾区の母子生活支援では区の担当課と社会福祉法人がよく連携し、入所者の相談に積極的にのり、退所後も訪問するなどのアフタケアもしてありました。今後DV被害も含めた、ひとり親世帯への支援の必要性が増すことから本市の今後の対応を考えるうえで大変参考となるものでした。

## 視察先

◇7月2日(木) 氷見市(富山県)

◆人口 約5万人

◆面積 約230平方キロメートル

◇7月3日(金) 富岡市(群馬県)

◆人口 約5万人

◆面積 約123平方キロメートル

## 《氷見市》 ①「水産業の振興」について ②「観光ブランド戦略」について

「ひみ寒ぶり」は、全国ブランドとなっていますが、平成22年に産地偽装問題が起こり、その後、より一層の品質保持と信頼の確保を図るために、①図形商標の登録②出荷箱の統一③販売証明書の発行などにより、ブランドを守る体制の整備に努めておりました。

また、漁食普及の推進を行っており、学校給食などに氷見の魚を積極的に利用してもらうモデル事業（調達、加工、保存、納品のシステム構築）を実施しておりました。氷見の魚は、他の産地の魚より値段が高いため、その差額を補助金で助成し、好評を得ているとのことでありました。

また、漁業地域づくりの推進として、定置網漁等見学、後継者育成漁業体験教室、水産加工体験教室などの事業を行っており、漁業後継者の育成にも力を入れておりました。



ひみ寒ぶりのトコ箱

北陸新幹線開業により、北陸に注目が集まり、旅行者の増加、観光情報の検索頻度が高まると考えられることから、攻めと守りの両面対策を講じておりました。

攻めとしては、新幹線沿線都市での観光PR、SNSなどソーシャルメディアによる情報拡散、モニターツアーの実施などであり、守りとしては、氷見の魅力を体験出来る受け皿作りを進め、体験プラン、着地型旅行商品の整備、バスやレンタカー客への地元サービス、観光案内所の機能向上に取り組んでおりました。



氷見市役所にて

## 《富岡市》 ①「世界遺産登録後の観光まちづくり」について



富岡製糸場にて説明を受ける

富岡製糸場は、平成26年6月25日に世界遺産として正式に登録さ

れました。

世界遺産登録後においては、富岡製糸場を核としたまちづくりを行っており、今後は、「富岡製糸場の整備・活用」、「富岡ならではの食、土産物の開発とブランド化」、「市域全体へ観光客の回遊策」、「他の観光施設・市町村との連携」、「イ

ンバウンド対策」を進めていくとのことでありました。



富岡市役所にて

### 視察を終えて

氷見市においては、水産業と観光を合わせて発信していくために、さまざまな施策を展開しており、今後、水産業に力を入れていく鳴門市としては、大変参考になる視察でした。

富岡市の世界遺産登録後の観光といった点からのまちづくりについても、2つの世界遺産登録をめざす鳴門市にとって大変参考となるものでした。



# 市議会 点描



## ■平成27年度の視察受入■

(27年4月～8月末現在)



ようこそ  
鳴門市へ

【委員会視察】 7月9日  
横手市議会(秋田県)

【視察目的】  
エコノミックガーデニングに  
ついて

【委員会視察】 5月12日  
天童市議会(山形県)

【視察目的】  
鳴門市地域バスの運行について

【会派視察】 5月11日  
石巻市議会(宮城県)

【視察目的】  
鳴門市女性子ども支援セン  
ター「ばぁとなー」開設によ  
るDV被害者支援について

【委員会視察】 7月14日  
上田市議会(長野県)

【視察目的】  
介護支援ボランティア・いき  
いきなるとボランティアボ  
イント事業について

### 【行政視察とは】

議員が他自治体等の先進的な取り組みをしている地域へ出向き、その地域の行政・経済・文化等の実情を把握し議会活動に活かすことを目的に実施しています。

## ◆……「鳴門市版総合戦略」市議会議員ワークショップの概要……◆

《3班に分かれて、各々のテーマについて議論を行いました》

### 1班

#### テーマ① 市民の誇りを喚起する「プライド(誇り)プロジェクト」

- 総花的な施策ではなく、第九・渦潮・農産物・鳴門鯛などに特化しブランド力などを伸ばしていくことが大切では。
- 行政が魅力アップを図ることに限界があり、鳴門の良さは何かを民間リサーチするとともに、民間の力を活用しないといけないのでは。

#### テーマ② 働く場所と環境をつくる「ジョブ(仕事)プロジェクト(農水産業)」

- JAやJFの協力が必須であり、都会から若者などを受け入れて、個人事業を法人化して雇用を増やすことが必要では。
- 市内で農水産物の産直市等を作ることを検討するなど、地産地消を推進することも大切では。

### 2班

#### テーマ① 出会い・恋愛・妊娠・子育てを楽しむ「子どもサポートプロジェクト」

- 子育てに関しては、病児・病後児保育や医療費無料化の拡充を行うことにより、子育て世帯の負担軽減が図られ、出生数・出生率の向上が見込まれるのではないかと。

#### テーマ② 定住と移住支援する「リビング(住む)プロジェクト」

- 定住・移住の弊害の一因である固定資産税等にかかる都市計画の抜本的な見直しが必要ではないかと。
- 就職に関する助成や移住に関する特典など新たな取り組みを進めることで、定住や移住が促進されるのではないかと。
- 鳴門教育大学との連携を進めることで、さらなる教育環境の充実が図られることにより、子育て世代の定住・移住促進に繋がるのではないかと。

### 3班

#### テーマ① 働く場所と環境をつくる「ジョブ(仕事)プロジェクト(商工業)」

- 女性が働きやすい職場づくりとして、サテライトオフィスやコールセンターの誘致を行ってはどうか。
- 鳴門の地の利を生かすため、流通業界にアプローチしてはどうか。例えば、トラックターミナルのような施設を誘致してはどうか。

#### テーマ② 健康に長生きする「ヘルス(健康)プロジェクト」

- 新ポートレース場周辺の温浴施設の横に高齢者向けのトレーニングセンターを作ってはどうか。体づくりを行えば医療費の削減などにもつながるのではないかと。
- シルバー人材センターへの登録者数の割には、仕事がありません。高齢者の活用をもっと考えてはどうか。

# 市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。  
本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメールでおよせください。

## 募 集 中



- ① 議会だより紙面について(感想、ご要望など)
- ② 議会のしくみや専門用語についての疑問  
文の様式は問いませんが、300字以内とします。
- ③ 鳴門市で直近3ヶ月以内に撮影した写真  
カラープリントで、できれば鳴門市ならではのもの、季節感のあるものでお願いします。

- ※ 内容等についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記してください。  
(紙面には年齢・性別のみ掲載させていただきます。)
- ※ 紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。
- ※ 投稿していただいたものは返却できません。
- ※ 写真は表紙に掲載させていただきますが、編集の過程でトリミング等の加工をすることがありますのでご了承ください。

✿宛 先✿ 鳴門市議会事務局  
〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地  
☎ (088) 684-1234 / 📠 (088) 684-0814  
✉ gikai@city.naruto.lg.jp

… 市民の皆さんのご応募をお待ちしております …



## ～ 編集を終えて ～

8月も終わり、今日から9月ですね。  
8月は、お盆休みなどもあり、多くの市出身者の方も帰郷されたことと思います。  
今年、5年に一度の国勢調査があります。  
今回の調査では、長らく6万人台を維持して来た鳴門市の人口が5万人台になることが予想されています。  
戦後日本の軌跡は、欧米へのキャッチアップのモデルとして評価されると同時に、地方から都会への人口移動による過疎化も問題となりました。  
5年後の国勢調査の年には、高度経済成長時代の象徴的な出来事であったオリンピックが再び東京で開催されます。  
地方にも実りあるスポーツの祭典とならんことを。

## (議会広報委員会)

委員長：東 正昇  
副委員長：松浦 富子  
委員：上田 公司・大石美智子・叶井 克典  
野田 粹之・圃山 俊作・山根 巖

## 議会活動(平成27年6月～8月)

### 6月

- 2日 市人権教育推進協議会総会
- 3日 一般質問(～5日)
- 5日 予算決算委員会
- 6日 市母子寡婦福祉連合会総会
- 7日 「なると第九」ラッピングバスお披露目式
- 8日 総務文教委員会
- 9日 生活福祉委員会  
鳴門海峡のうず潮講演会(南あわじ市)
- 10日 産業建設委員会(管内視察含む)
- 11日 市小学校体操発表会
- 16日 鳴門商工会議所議員総会終了後の懇親会
- 17日 全国市議会議長会定期総会(東京)
- 18日 市議会議員共済会第110回代議員会(東京)
- 20日 姉妹都市親善使節団結団式
- 23日 市シルバー大学校入学式
- 25日 全国競艇主催地議会協議会定期総会(愛知/～26日)
- 25日 板東野球スポーツ少年団全国大会出場表敬訪問
- 29日 議会広報委員会
- 30日 市スポーツ振興後援会理事・評議員会

### 7月

- 2日 産業建設委員会行政視察(富山・群馬/～3日)
- 7日 総務文教委員会行政視察(栃木・東京/～8日)  
生活福祉委員会行政視察(神奈川・東京/～8日)
- 9日 横手市議会(秋田)行政視察来庁
- 14日 上田市議会(長野)行政視察来庁  
うずしお少年少女消防クラブ  
消防オリンピック出場表敬訪問
- 15日 姉妹都市親善使節団壮行会
- 16日 議会広報委員会
- 23日 市小学校水泳能力検定会
- 24日 姉妹都市親善使節団歓迎会
- 25日 高速鳴門防犯灯お披露目式
- 29日 全国競艇主催地議会協議会正副会長会議(東京)
- 31日 議会広報委員会  
鳴門高校野球部甲子園出場表敬訪問  
「鳴門市版総合戦略」議員ワークショップ

### 8月

- 3日 伊藤舞選手世界選手権出場表敬訪問
- 6日 総務文教委員会
- 7日 市納涼花火大会  
市選抜阿波おどり
- 9日 市阿波おどり(～11日)
- 10日 議会広報委員会
- 17日 KACスポーツ少年団全国大会出場表敬訪問
- 18日 板東野球スポーツ少年団全国大会優勝表敬訪問
- 19日 アンビシャスランニングクラブ  
全国大会出場表敬訪問
- 20日 瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会  
役員会・監査会
- 21日 第十堰対策意見交換会・  
第十堰促進期成同盟会通常総会(徳島市)
- 26日 第3回定例会日程協議
- 29日 姉妹都市親善使節団解団式
- 31日 議会だより配布  
徳島県戦没者追悼式

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。